

数 3 演習の続きの問題を順次解説していきます。

成増校と白金台校で若干の進度ズレがあるので、両方とも終わった問題の続きから解説します。

質問等があったら、文章のみなら

sieg-fc-7@ezweb.ne.jp (ガラケー)

まで、写メなど添付ファイルがある場合は

ishikawa-manabu@ishimana.sakura.ne.jp (パソコン)

までお願いします。

【問題 9.2】

(1) a を正の実数とすると、方程式 $x = a \log x$ の実数解の個数を求めよ。

ただし、 $\lim_{x \rightarrow \infty} (x - a \log x) = \infty$ は用いてよいものとする。

(2) n が自然数であるとき、方程式 $e^x = x^n$ の実数解の個数を求めよ。ただし、 e は自然対数の底とする。

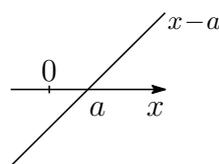
(2001 大阪教育大)

解答

(1) $a > 0$ として、 $f(x) = x - a \log x$ とおくと $f'(x) = 1 - \frac{a}{x} = \frac{x-a}{x}$

$f'(x)$ において分母は $x > 0$ であるから、 $f'(x)$ の符号は $x - a$ の符号で決まることに注意すると、増減表は

x	0	...	a	...
$f'(x)$	\times	-	0	+
$f(x)$	\times	\searrow	$a(1 - \log a)$	\nearrow



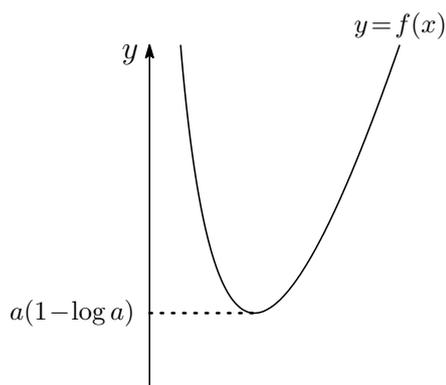
また

$$\lim_{x \rightarrow \infty} f(x) = \lim_{x \rightarrow \infty} (x - a \log x) = \infty$$

$$\lim_{x \rightarrow +0} f(x) = \lim_{x \rightarrow +0} (x - a \log x) = \infty$$

であるから、グラフは図のようになる。

このグラフと x 軸の共有点の個数が求めるものであるから



$$\begin{cases} a(1 - \log a) > 0 \text{ すなわち } 0 < a < e \text{ のとき } 0 \text{ 個} \\ a(1 - \log a) = 0 \text{ すなわち } a = e \text{ のとき } 1 \text{ 個} \\ a(1 - \log a) < 0 \text{ すなわち } a > e \text{ のとき } 2 \text{ 個} \end{cases}$$

(2) $e^x = x^n$ ……① とおく。

(i) $x > 0$ のとき

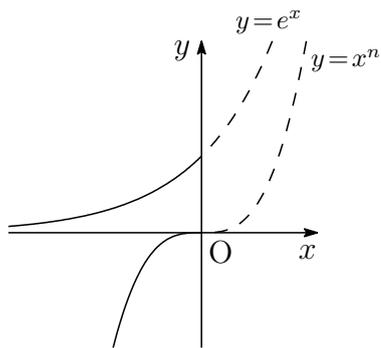
$$\textcircled{1} \iff x = n \log x$$

であるから、 $x > 0$ の範囲にある ① の実数解の個数は、(1) より

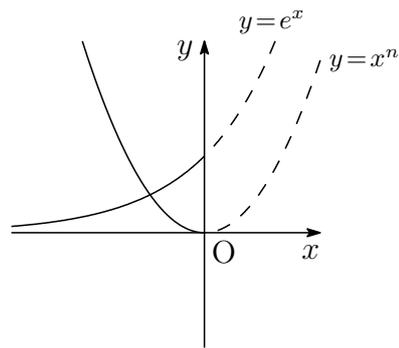
$$\begin{cases} n = 1, 2 \text{ のとき } 0 \text{ 個} \\ n = 3, 4, 5, \dots \text{ のとき } 2 \text{ 個} \end{cases}$$

(ii) $x \leq 0$ における $y = e^x$ と $y = x^n$ のグラフは次のようになる。

・ n が奇数のとき



・ n が偶数のとき



よって、 $x \leq 0$ の範囲にある ① の実数解の個数は、上のグラフの共有点の個数であるから

$$\begin{cases} n \text{ が奇数のとき } 0 \text{ 個} \\ n \text{ が偶数のとき } 1 \text{ 個} \end{cases}$$

以上 (i), (ii) より、① の実数解の個数は

$$\begin{cases} n = 1 \text{ のとき } 0 + 0 = 0 \text{ 個} \\ n = 2 \text{ のとき } 0 + 1 = 1 \text{ 個} \\ n = 3, 5, 7, \dots \text{ のとき } 2 + 0 = 2 \text{ 個} \\ n = 4, 6, 8, \dots \text{ のとき } 2 + 1 = 3 \text{ 個} \end{cases}$$

【問題 9.3】

$f(x) = e^x$ とし, $0 < h < 1$ とする.

(1) $f(x+h) = f(x) + hf'(x+ah)$ をみたす a を求めよ.

(2) $e^h < 1 + 3h$ を示せ.

(3) $1 + h + \frac{h^2}{2} < e^h < 1 + h + \frac{h^2}{2}(1+h)$ を示せ.

(4) $\lim_{h \rightarrow +0} a$ を求めよ.

(2001 富山医科薬科大)

解答

(1) $f(x) = e^x$ のとき $f'(x) = e^x$ であるから

$$f(x+h) = f(x) + hf'(x+ah)$$

$$e^{x+h} = e^x + he^{x+ah}$$

$$e^h = 1 + he^{ah} \quad (\odot \quad e^x > 0)$$

$$he^{ah} = e^h - 1$$

$$e^{ah} = \frac{e^h - 1}{h} > 0 \quad (\odot \quad h > 0)$$

$$ah = \log \frac{e^h - 1}{h}$$

$$\therefore a = \frac{1}{h} \log \frac{e^h - 1}{h} \quad (\odot \quad h > 0)$$

(2) $u(x) = (1+3x) - e^x$ とおくと $u'(x) = 3 - e^x$

$0 < x < 1$ のとき $e^x < 3$ より $u'(x) > 0$ であるから, $u(x)$ は $0 \leq x \leq 1$ で増加する.

そして $u(0) = 0$ であるから, $0 < x < 1$ で $u(x) > 0 \quad \therefore e^x < 1 + 3x$

よって $e^h < 1 + 3h$

(3) (i) $v(x) = e^x - \left(1 + x + \frac{x^2}{2}\right)$ とおくと $v'(x) = e^x - (1+x)$, $v''(x) = e^x - 1$

$0 < x < 1$ のとき $e^x > 1$ より $v''(x) > 0$ であるから, $v'(x)$ は $0 \leq x \leq 1$ で増加する.

そして $v'(0) = 0$ であるから, $0 < x < 1$ で $v'(x) > 0$

よって $v(x)$ は $0 \leq x \leq 1$ で増加し, $v(0) = 0$ であるから

$0 < x < 1$ で $v(x) > 0 \quad \therefore 1 + x + \frac{x^2}{2} < e^x$

(ii) $w(x) = \left\{1 + x + \frac{x^2}{2}(1+x)\right\} - e^x = \left(1 + x + \frac{x^2}{2} + \frac{x^3}{2}\right) - e^x$ とおくと

$$w'(x) = \left(1 + x + \frac{3x^2}{2}\right) - e^x, \quad w''(x) = (1+3x) - e^x = u(x)$$

$0 < x < 1$ のとき (2) より $w''(x) > 0$ であるから, $w'(x)$ は $0 \leq x \leq 1$ で増加する.

そして $w'(0) = 0$ であるから, $0 < x < 1$ で $w'(x) > 0$

よって $w(x)$ は $0 \leq x \leq 1$ で増加し, $w(0) = 0$ であるから

$$0 < x < 1 \text{ で } w(x) > 0 \quad \therefore e^x < 1 + x + \frac{x^2}{2}(1+x)$$

$$\text{以上 (i), (ii) より} \quad 1 + h + \frac{h^2}{2} < e^h < 1 + h + \frac{h^2}{2}(1+h)$$

(4) (1),(3) より

$$1 + h + \frac{h^2}{2} < e^h < 1 + h + \frac{h^2}{2}(1+h)$$

$$h + \frac{h^2}{2} < e^h - 1 < h + \frac{h^2}{2}(1+h)$$

$$1 + \frac{h}{2} < \frac{e^h - 1}{h} < 1 + \frac{h}{2}(1+h)$$

$$\log\left(1 + \frac{h}{2}\right) < \log\frac{e^h - 1}{h} < \log\left\{1 + \frac{h}{2}(1+h)\right\}$$

$$\therefore \frac{1}{h} \log\left(1 + \frac{h}{2}\right) < a < \frac{1}{h} \log\left\{1 + \frac{h}{2}(1+h)\right\}$$

そして

$$\lim_{h \rightarrow +0} \frac{1}{h} \log\left(1 + \frac{h}{2}\right) = \lim_{h \rightarrow +0} \frac{\log\left(1 + \frac{h}{2}\right)}{\frac{h}{2}} \cdot \frac{1}{2} = 1 \cdot \frac{1}{2} = \frac{1}{2}$$

$$\lim_{h \rightarrow +0} \frac{1}{h} \log\left\{1 + \frac{h}{2}(1+h)\right\} = \lim_{h \rightarrow +0} \frac{\log\left\{1 + \frac{h}{2}(1+h)\right\}}{\frac{h}{2}(1+h)} \cdot \frac{1+h}{2} = 1 \cdot \frac{1}{2} = \frac{1}{2}$$

であるから, はさみうちの原理より

$$\lim_{h \rightarrow +0} a = \frac{1}{2}$$

※極限計算には, 32 ページ 4-(6)

$$\square \rightarrow 0 \text{ のとき } \lim \frac{\log(1 + \square)}{\square} = 1$$

を用いた. この公式は覚えておきたい.

【問題 9.4】

(1) 実数 x が $-1 < x < 1, x \neq 0$ をみたすとき、次の不等式を示せ.

$$(1-x)^{1-\frac{1}{x}} < (1+x)^{\frac{1}{x}}$$

(2) 次の不等式を示せ.

$$0.9999^{101} < 0.99 < 0.9999^{100}$$

(2009 東京大)

解答

(1) $-1 < x < 1, x \neq 0$ のとき

$$\begin{aligned} (1-x)^{1-\frac{1}{x}} < (1+x)^{\frac{1}{x}} \quad \cdots\cdots\textcircled{1} &\iff \left(1-\frac{1}{x}\right)\log(1-x) < \frac{1}{x}\log(1+x) \\ &\iff \frac{\log(1+x) - (x-1)\log(1-x)}{x} > 0 \quad \cdots\cdots\textcircled{2} \end{aligned}$$

である. そこで

$$f(x) = \log(1+x) - (x-1)\log(1-x) \quad (-1 < x < 1)$$

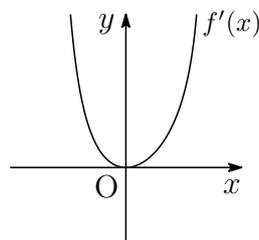
とおくと

$$f'(x) = \frac{1}{1+x} - 1 \cdot \log(1-x) - (x-1) \cdot \frac{-1}{1-x} = \frac{1}{1+x} - \log(1-x) - 1$$

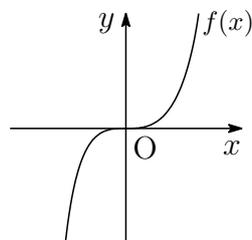
$$f''(x) = -\frac{1}{(1+x)^2} - \frac{-1}{1-x} = \frac{x(x+3)}{(1-x)(1+x)^2}$$

であるから, 増減表は

x	-1	...	0	...	1
$f''(x)$	\times	-	0	+	\times
$f'(x)$	\times	\searrow	0	\nearrow	\times



x	-1	...	0	...	1
$f'(x)$	\times	+	0	+	\times
$f(x)$	\times	\nearrow	0	\nearrow	\times



よって

$$-1 < x < 0 \text{ のとき } f(x) < 0 \text{ より } \frac{f(x)}{x} > 0$$

$$0 < x < 1 \text{ のとき } f(x) > 0 \text{ より } \frac{f(x)}{x} > 0$$

となるから, $-1 < x < 1, x \neq 0$ のとき, ② すなわち ① が成り立つ.

(2) ① で $x = 0.01 = \frac{1}{100}$ とすると $0.99^{-99} < 1.01^{100}$

両辺に 0.99^{100} をかけて $0.99 < (1.01 \times 0.99)^{100} = 0.9999^{100}$ ……③

また, ① で $x = -0.01 = -\frac{1}{100}$ とすると $1.01^{101} < 0.99^{-100}$

両辺に 0.99^{101} をかけて $0.9999^{101} < 0.99$ ……④

③, ④ より $0.9999^{101} < 0.99 < 0.9999^{100}$

【問題 9.5】

関数 $f(x) = x^x$ ($x > 0$) について、次の問いに答えなさい。

(1) 関数 $f(x)$ の最小値を求めなさい。

(2) 曲線 $y = f(x)$ の接線で原点を通るものは 1 本しかないことを示し、その接線の方程式を求めなさい。

(2003 長崎大)

解答

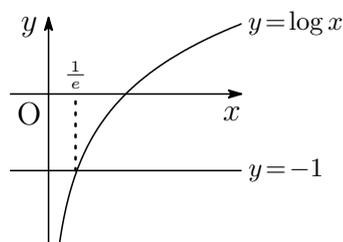
(1) $x > 0$ のとき $f(x) = x^x = e^{\log x^x} = e^{x \log x}$

であるから

$$f'(x) = (e^{x \log x})' = e^{x \log x} \cdot \left(1 \cdot \log x + x \cdot \frac{1}{x}\right) = x^x (\log x + 1)$$

$f'(x)$ において $x^x > 0$ であるから、 $f'(x)$ の符号は $\log x + 1 = \log x - (-1)$ の符号、すなわち、曲線 $y = \log x$ と直線 $y = -1$ の上下関係で決まることに注意すると、増減表は

x	0	...	$\frac{1}{e}$...
$f'(x)$	X	-	0	+
$f(x)$	X	↘	$\left(\frac{1}{e}\right)^{\frac{1}{e}}$	↗



よって、 $f(x)$ は $x = \frac{1}{e}$ のとき最小値 $\left(\frac{1}{e}\right)^{\frac{1}{e}}$ をとる。

(2) 曲線 $y = f(x)$ 上の点 (t, t^t) ($t > 0$) における接線の方程式は

$$y = t^t (\log t + 1)(x - t) + t^t \quad \text{.....①}$$

この接線が原点を通る条件は

$$0 = t^t (\log t + 1) \cdot (-t) + t^t$$

$$0 = (\log t + 1) \cdot (-t) + 1 \quad (\because t^t > 0)$$

$$\therefore t \log t + t - 1 = 0 \quad \text{.....②}$$

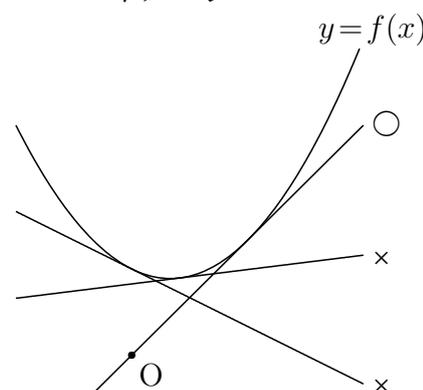
よって、② を満たす実数 $t > 0$ がただ 1 つであることを示せばよい。

そこで、 $g(t) = t \log t + t - 1$ ($t > 0$) とおくと

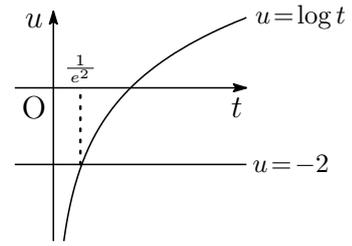
$$g'(t) = 1 \cdot \log t + t \cdot \frac{1}{t} + 1 = \log t + 2$$

$g'(t)$ の符号は $\log t + 2 = \log t - (-2)$ の符号、すなわち、曲線 $u = \log t$ と直線 $u = -2$ の上下関係で決まることに注意すると、増減表は

イメージ



t	0	...	$\frac{1}{e^2}$...
$g'(t)$		-	0	+
$g(t)$		↘	$-\frac{1}{e^2} - 1$	↗



また

$$\lim_{t \rightarrow \infty} g(t) = \lim_{t \rightarrow \infty} (t \log t + t - 1) = \infty$$

$$\lim_{t \rightarrow +0} g(t) = \lim_{t \rightarrow +0} (t \log t + t - 1) = -1$$

であるから、グラフは図のようになる。

よって、②を満たす実数 $t > 0$ は $t = 1$ のただ1つである。このときの①が求める接線の方程式であるから、答えは $y = x$

